

報道関係者各位

2026年6月29日

水ing株式会社

東京科学大学で留学生向け講義を実施（オンライン開催）

水ing株式会社（社長：安田真規、本社：東京都港区）は、2026年6月3日、東京科学大学（理事長：大竹尚登、所在地：東京都目黒区）の留学生に向けて、当社の社員が非常勤講師として講義を実施しました。本講義は2020年から毎年実施しており、今回で7回目となります。本年度は台風6号の影響により、急遽オンライン形式での開催となりました。



写真：同大学卒業の当社社員2名によるオンライン講義の様子

【背景と目的】

東京科学大学では、日本でのインターンシップや就職、研究などを考えている留学生を対象に、様々な業種から異なる職種の講師を招き、日本の会社や産業界全般の概要、求められるコミュニケーション力についての講義を実施しています。

当社の講義では、日本の水インフラ事業を支える企業として、世界や日本の水事情、水ビジネスの概要や役割、プラントエンジニアリング、官民連携などについて解説し、留学生が日本の産業や企業活動への理解を深める機会となることを目的としています。

【当日の様子】

当日は、台風の影響により対面での実施が困難となったため、急遽オンライン形式に切り替えて講義を実施しました。オンライン開催となった中でも、今回参加した15名の留学生は講義に熱心に耳を傾けていました。

当社の講義では、事業に関するだけでなく、これから日本でインターンシップや就職を目指す学生に向けて、日本企業で働くうえで大切な考え方や、就職活動におけるポイントについても紹介しました。



写真：昨年実施した対面での講義の様子

【概要】

講義日時	2026年6月3日
科目	日本企業・産業研究 II
講義名	Water business in Japan
開催形式	オンライン開催（台風の影響により対面開催から変更）
対象	日本でのインターンシップや就職を考えている留学生

【水ingグループの教育貢献】

当社は、次世代を担う子供達や学生達の教育に貢献するため、施設見学や講義などに積極的に協力しています。対象は小・中・高・大学生と各年代にわたり、様々な部署がそれぞれの専門性を活かして教育の機会を提供しています。

昨今、日本の産業競争力の向上や理工系人材の育成は社会的に重要なテーマとなっており、政府も「統合イノベーション戦略 2025」において、研究力と人材育成の強化、イノベーション・エコシステムの形成などを掲げています。こうした中、民間企業が教育機関に対し実践的な学びの機会を提供することは、学生達が専門知識と社会との接点を得るうえで重要な意義があると考えられます。

当社グループは、水処理事業を展開する企業として、当社が有する専門性を活かした教育支援を継続し、次世代のキャリア形成に貢献してまいります。

◇水 ing（すいんぐ）グループについて◇

水 ing(読み：すいんぐ)は、「生命の源である『水』を通じていつまでも社会に貢献し続ける『ing』」を经营理念に掲げ、水処理施設（浄水場、下水処理場、汚泥再生処理センター、し尿処理場、民間施設等）の設計・建設から運営、維持管理までをトータルに手掛けています（運転・維持管理の拠点は、国内約 300 か所）。

“水の先をつくれ。”というブランドメッセージのもと、地域の暮らしの課題に目を向け、安全安心な水環境を提供し続けるとともに、水を通じて、暮らしと街の未来を支えています。

（ 公式 WEB サイト <https://www.swing-w.com> ）

問合せ先：広報部

Tel:03-4346-0612

E-mail : pr.news@swing-w.com